



テントウムシの点はいくつあるの

種類によっていろいろ

テントウムシの仲間は、色やはねの模様、えさもさまざまです。はねに点が1つもないものから、28個もあるニジュウヤホシテントウまでいます。

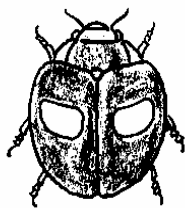
これらの中で、テントウムシとよばれるのは、ナミテントウのことです。ナミテントウは、同じ種類の中でも、はねの模様や色のちがうものが多いのですが、そのちがいで、次のような、4つの型に分類することができます。

黒の地に赤い点が2つの「2紋型」、点が4つの「4紋型」、たくさんの点がある「はん紋型」、赤の地に黒い点がある「紅型」の4つです。この4つの型の、型がちがう両親から生まれる子どもは、両親の模様を重ねあわせたものになります。

暖かい南の地方では「2紋型」が多く、北の地方にいくと「紅型」が多くなります。

ナナホシテントウは7つ

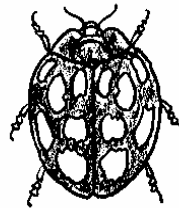
ナミテントウの次によく見られるのは、ナナホシテントウです。体長は、7～8ミリメートルと、ナミテントウと大きさも同じくらいで、日本全国にすんでいます。はねの色はだいたい色で、7つの黒い点があります。（監修・中山 周平）



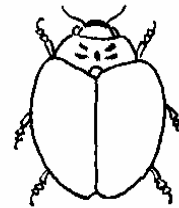
2紋型



4紋型



はん紋型



紅型

ナミテントウの4つの型

